

新型コロナウイルス 埼玉県緊急対応策 ②

追加予算措置

国の緊急対応策などを踏まえた新たな措置 (30億円程度)

■感染拡大防止と医療提供体制の整備 検査体制の強化 (22億9260万円)

- ・入院医療機関の体制強化
- ・介護施設等の多床室の個室化改修支援
- ・医療機関、介護施設等のマスク・消毒液の緊急調達
- ・保険適用 PCR 検査の公費負担

■学校の臨時休業に伴って生じる 課題への対応 (11億5400万円)

- ・生活福祉資金貸付制度の拡充

■中小企業への新たな支援 (6000万円)

- ・県制度融資の融資利率引き下げ
- ・信用保証付き融資の返済期間延長

今後の主な対応

- マスク (県独自調達) の配布
- PCR 検査方針の作成
- 県主催イベントの自粛
- 県職員の感染防止
- 学校の臨時休業への対応
- 雇用調整助成金等の緊急相談会
- 国への要望
- 県の執行体制の強化



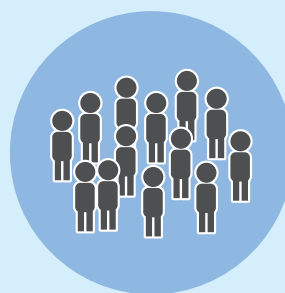
県民の皆様の生命と健康を第一に、引き続き柔軟に対応していきます。

避けて行動！ 3つの“密”

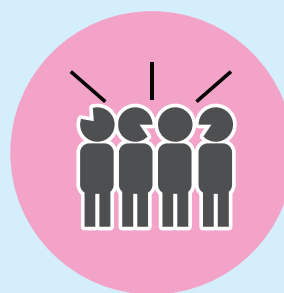
換気の悪い
密閉区間



多くの人の
密集



近距離での会話
密接



こまめに石けんやアルコール消毒液で手を洗いましょう！

発行
埼玉県議会自由民主党議員団

埼玉県政に対するご意見やご要望などの声をお聞かせ下さい。最新情報はホームページより。

埼玉県議会議員

〒356-0035
埼玉県ふじみ野市丸山 2-18-102

TEL : 049-265-6250 FAX : 049-265-6251
E-mail : office.daiwatanabe@gmail.com

渡辺大 県政事務所



県政報告

Vol.3

埼玉県議会議員

西五区
(ふじみ野市・三芳町)

わた なべ だい

渡辺大

ふじみ野市・三芳町・埼玉県を抜群に魅力的に!!!



見えにくい！と言われる県議会での活動をもっと身近に！わかりやすく！
様々な媒体を通じて、活動内容をお伝えしていきます！

新型コロナウイルス感染症に対する緊急対策 ①

新型コロナウイルス緊急対策として、
総額約 35 億円の緊急補正予算を編成しました。
今後も県民の皆様の暮らしを守るため、迅速に対応していきます。

埼玉県による緊急対策①の内容 (4億5327万5000円)

啓発用リーフレットの作成 …… 292万6000円

検査・医療提供体制の強化

感染症検査体制の整備 …… 4000万円
 医療機関受診体制の整備 …… 1億3518万1000円
 入院医療費の公費負担 …… 3005万8000円

感染者フォローアップ体制の整備

13保健所に看護師を派遣 …… 3562万円

県民相談体制の強化

専用電話相談窓口
「県民サポートセンター」
の運営 …… 2億949万円

専用電話相談窓口



0570-783-770

24時間受付
(土日・祝日も実施)

新型コロナ対策
パーソナルサポート



LINE
上のQRコードより
友達追加して下さい

一般質問報告

皆様の声を県政に！

県議会9月定例会（9月30日・於：本会議場）において一般質問に登壇し、以下の8項目について質問・提言をさせていただきました。本号ではそのうち3つの概要をお伝えします。



県議会9月定例会（9月30日・於：本会議場）

- 1. Society5.0（超スマート社会）への対応について
- 2. 離婚時の養育費の取決めの啓発、勸奨について
- 3. 家庭養育の推進について
- 4. 処遇改善について（介護職員・保育士）
- 5. 世界農業遺産の申請について
- 6. 豪雨災害に備えた治水対策について
- 7. 東武東上線の連続立体交差化（高架化）について
- 8. ふじみ野市内及び三芳町内の県道の安全対策について

※2.4.6については県政報告No.2にて内容をご覧ください。

01 ふじみ野市内の県道の安全対策、三芳町内の県道の安全対策

● 県道さいたまふじみ野所沢線の整備について

上福岡駅周辺で重点的に進めており、上福岡駅入口交差点から南側の延長700m区間について、平成13年度に事業着手。現在の用地買収率は40%であり、これまでに歩行者の多い東武東上線の踏切とその前後を中心に整備を進めている。引き続き用地交渉を進め、用地が確保できた箇所から工事を進める。

● 県道東大久保ふじみ野線（駒林ヤオコー前を通る県道）の整備について

歩道整備は通学路の指定状況や事故の発生状況などを踏まえ、緊急性の高い箇所から進める。

● 県道三芳富士見線の整備について

三芳スマートインターチェンジへのアクセス道路である町道と交差する三芳中学校前交差点の前後400m区間について、交差点改良と歩道整備を進めている。現在の用地買収率は63%。

三芳中学校前交差点の東側区間については右折帯と歩道の整備が完了した。引き続き、用地取得を進め、交差点西側の歩道工事を進める。

12月議会 一般会計補正予算 231億4000万円

災害救助法が適用になった被災住宅への応急修理支援	12億5000万円
農家等への支援	9億7000万円
山林、林業基盤施設の復旧	62億円
台風19号により被害を受けた県内中小企業等に対し、被災施設の復旧支援	29億円

- 地方創生行財政改革特別委員会
- 市町村への権限移譲の推進をすすめる条例
- 知事の在任期間に関する条例の廃止
- ジェトロ埼玉貿易情報センター開設。（県内企業の海外ビジネス展開支援）など

02 東武東上線の連続立体交差、高架化を。

Q. 東武東上線の和光市駅から川越市駅間の乗降客数は年間延べ約3億4800万人です。一方で、輸送障害として国に報告されている30分以上の遅延が頻発している。輸送障害を改善するためには駅間の走行環境の改善が不可欠と考える。



■東武鉄道伊勢崎線 越谷駅

A. 東武東上線の和光市から川越市の間には、県管理道路と鉄道の交差が17か所あり、そのうち6か所が踏切である。東武東上線の踏切については、地域の状況を踏まえ、各市町と連携し、適切な対策を検討する。

03 里親等、特別養子縁組制度の啓発、利用を促進を。

Q. 虐待や保護者の病気など様々な理由で家庭で暮らすことができない子供たちが県全体で約1,800人おり、家庭的な環境で暮らしている子供はそのうちの20%にとどまり、多くの子供たちが乳児院や児童養護施設などで集団で暮らしているのが実態である。家庭と同様の愛に満ちた環境で育つことは子の成長に有益で、その後の貧困を回避できる可能性が増し、自立した社会人を育成するという意味でも重要と考える。



A. 今後も一人でも多くの子供たちが愛情ある家庭的環境で育つことができるよう、里親委託や特別養子縁組などの推進に着実に取り組んでいく。

令和会（自民党県議会1期生の会）視察 (加須市：水産研究所、環境科学国際センター)

■本県の河川漁業と養殖漁業の振興のため、水産に関する試験研究と技術普及に努める

温暖化対策、大気環境、自然環境、資源循環、廃棄物、化学物質・環境放射能、水・土壌などについて調査、研究に取り組んでいる環境科学国際センター等の研究内容、組織体制、課題などについて視察調査を実施しました。



決算特別委員会視察 埼玉県立小児医療センター（さいたま市）/ SFAフットボールセンター（加須市）

■「子どもたちの未来は私たちの未来」

県立小児医療センターは、県内唯一の小児専門病院として先進・高度な小児医療を担っています。不採算医療や高度医療の充実と能率的な経営の両立が県政の課題となっているため、運営状況の調査を行いました。



■SFAフットボールセンター